

「いわき市公共施設等総合管理計画」に基づく

個別施設計画

【保健・福祉・医療施設】

計画期間：令和6年度から令和12年度まで

令和6年5月 策定

市民協働部

保健福祉部

こどもみらい部

国保年金課

保健福祉課

医療対策課

介護保険課

保健所総務課

保健所生活衛生課

こども支援課

機能類型	小区分	地区	施設名	施設所管部	施設所管課
保健・福祉・医療施設	保健施設	内郷	総合保健福祉センター	保健福祉部	保健所総務課
保健・福祉・医療施設	保健施設	内郷	《総合保健福祉センター内》障害者生活介護センター	保健福祉部	障がい福祉課
保健・福祉・医療施設	保健施設	平	(仮称)動物愛護管理センター 犬管理所	保健福祉部	保健所生活衛生課
保健・福祉・医療施設	保健施設	平	犬管理所	保健福祉部	保健所生活衛生課
保健・福祉・医療施設	福祉施設	内郷	内郷授産場	保健福祉部	保健福祉課
保健・福祉・医療施設	福祉施設	内郷	《内郷保育所内》内郷子育て支援センター	こどもみらい部	こども支援課
保健・福祉・医療施設	福祉施設	内郷	内郷児童館	こどもみらい部	こども支援課
保健・福祉・医療施設	福祉施設	小名浜	小名浜児童センター	こどもみらい部	こども支援課
保健・福祉・医療施設	福祉施設	勿来	こども元気センター	こどもみらい部	こども支援課
保健・福祉・医療施設	養護老人ホーム	平	徳風園	保健福祉部	介護保険課
保健・福祉・医療施設	養護老人ホーム	勿来	千寿荘	保健福祉部	介護保険課
保健・福祉・医療施設	診療所	田人	田人診療所	市民協働部	国保年金課
保健・福祉・医療施設	診療所	内郷	休日夜間急病診療所	保健福祉部	医療対策課

果たしている役割・機能

- 感染症予防等の保健指導や食品等の生活衛生の向上を通じた市民の健康増進
- 市内保健福祉全般の中核的な拠点
- 動物の愛護管理
- 育児や療育などに関する企画・相談支援
- 障害者総合支援法に基づく生活介護
- 休日救急歯科診療及び障がい者歯科診療

対策の優先順位の考え方

- ① 可能な限り、民間事業者への移譲・移行を優先的に検討
- ② 同等又は類似のサービス・機能を提供する公共施設等が他にある場合は、これとの集約化・複合化を積極的に検討
- ③ 今後も市として維持するサービス・機能に係る施設については、日常的な点検に基づく計画的な予防保全に取り組む

対策の方向性

- 民間事業者により同等又は類似サービス・機能の提供が可能と想定される役割・機能については、民間事業者への移譲・移行を検討
- 総合保健福祉センターは、必要となる行政機能の再整理と館内課所の再配置を検討
- (仮称)動物愛護管理センターは、整備の条件・規模などを精査し、具体的なあり方を整理
- (仮称)動物愛護管理センターのあり方に応じて、犬管理所の具体的な対応を検討

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
内郷	総合保健福祉 センター 【2002年】	新	長寿命化 目標使用 年数 80年	検討内容	館内課所配置 見直し案整理			課所配置変更 ・機能集約				
				対策内容	止水対策設計 防火シャッター修繕 昇降機部品交換	止水対策工事 換気設備更新 LED化 給排水ポンプ更新 太陽光発電設備修繕 空調機等更新 電気設備更新	換気設備更新 LED化 雨漏り対応 空調機等更新 電気設備更新 トイレ自動ドア更新 VAV設備修繕	換気設備更新 LED化 雨漏り対応 空調機等更新 音響・映像設備更新 配置変更等の改修 電気設備更新	換気設備更新 LED化 空調機等更新 直流電源装置蓄電池修繕 雨 漏り対応 配置変更等の改修 電気設備更新	空調機自動制御機器 更新 LED化 雨漏り対応	空調機自動制御機器 更新 LED化 雨漏り対応	LED化 雨漏り対応
				対策費用概算	29,817千円	406,033千円	184,106千円	215,833千円	151,222千円	20,626千円	11,973千円	9,980千円
内郷	《総合保健福祉 センター内》 障害者生活介護 センター 【2002年】	新	あり方 見直し	検討内容	あり方整理（利用状況、 ニーズ把握等）							
				対策内容	防水改修（トッ プラ付等）		障害者生活介護センターのあり方整理に応じた対応					
				対策費用概算	10,989千円							
未定 平	(仮称)動物愛護 管理センター 犬管理所 【1967年】	－ 旧	あり方 検討	検討内容	・適正規模等の精査 ・整備方針案の作成 ・犬管理所あり方整理							
				対策内容			整備方針に応じた機能整備					
				対策費用概算								

果たしている役割・機能

- 授産施設、就労継続支援
- 地域子育て支援拠点、子どもの居場所・遊び場

対策の優先順位の考え方

- ① 可能な限り、民間事業者への移譲・移行を優先的に検討
- ② 同等又は類似のサービス・機能を提供する公共施設等が他にある場合は、これとの集約化・複合化を積極的に検討
- ③ 主たる建物が旧耐震基準であるものについては、すみやかに現在の施設に代わるサービス・機能のあり方を整理し、これを実現
- ④ 今後も市として維持するサービス・機能に係る施設については、日常的な点検に基づく計画的な予防保全に取り組む

対策の方向性

- 民間事業者により同等又は類似サービス・機能の提供が可能と想定される役割・機能については、民間事業者への移譲・移行を検討
- 内郷授産場は、利用者の移行調整を図り令和6年度末をもって廃止
- 旧内郷児童館の機能移転を図るものとして令和6年4月1日に供用開始した内郷子育て支援センターは、複合した内郷保育所との機能連携・効率化と建物の長寿命化を図る
- 小名浜児童センターは、地区内保育所のあり方に合わせて、機能の集約化・複合化等を検討
- こども元気センターは、日常的な点検に基づく計画的な予防保全により、建物の長寿命化を図る

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
内郷	内郷授産場 【1974年】	旧	廃止	検討内容	利用者 移行・廃止	施設解体 敷地返還						
				対策内容	解体設計	施設解体						
				対策費用概算	2,624千円	9,570千円						
内郷	《内郷保育所内》 内郷子育て支援 センター 【2024年】	新	長寿命化 目標 使用年数 60年	検討内容								
				対策内容								
				対策費用概算								
内郷	内郷児童館 【1971年】	旧	廃止	検討内容								
				対策内容	解体設計	施設解体						
				対策費用概算	3,286千円							
小名浜	小名浜 児童センター 【1981年】	新	複合化	検討内容	複合先保育所のあり方 に合わせた検討							
				対策内容			複合先保育所のあり方に合わせた対応					
				対策費用概算								

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
勿来	こども元気 センター 【2015年】	新	長寿命化 目標使用 年数 60年	検討内容								
				対策内容								
				対策費用概算								

果たしている役割・機能

- 環境上及び経済的な理由により在宅生活が困難な高齢者の養護
- 高齢者の自立した日常生活、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助の実施

対策の優先順位の考え方

- ① 現在の千寿荘の代替施設を整備する場合、民設民営もしくは公設民営による運営方法への移行を検討
- ② 徳風園への機能集約（増床）の検討
- ③ 今後も市として施設の維持管理を担う徳風園については、日常的な点検に基づく計画的な予防保全に取り組む

対策の方向性

- 長期的な視点から、将来的に必要な床数を推計
- 新施設整備方針を令和6年度中に決定
- 民間活力活用の観点から、養護老人ホームの民営が可能な唯一の法人格である社会福祉法人との対話により、整備方法の具体化を模索
- 徳風園については、千寿荘のあり方検討の方向性を踏まえつつ、必要な計画を整理する

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
平	徳風園 【2004年】	新	長寿命化	検討内容								
			目標使用 年数 80年	対策内容		千寿荘のあり方の方向性を踏まえつつ、必要な整備計画を整理						
				対策費用概算								
勿来	千寿荘 【1981年】	旧	現施設 廃止 機能移転	検討内容	整備計画 策定						現施設 供用廃止 ・機能移転	現施設 解体
				対策内容		整備計画に応じた整備支援（民設民営の場合） 又は 施設整備（公設民営又は徳風園増床の場合）					解体設計 アスベスト 調査	現施設解体 敷地測量
				対策費用概算							16,523千円	110,151千円

果たしている役割・機能

- 田人地区及びその周辺地域における診療機会の提供
- 市民一般に対する、休日、夜間等の診療機会の提供

対策の優先順位の考え方

- ① 可能な限り、民間事業者への移譲や運営面での民間活力活用を優先的に検討
- ② 診療体制のあり方について、中山間地域全般を対象に検討・必要に応じて実証的な取り組みを実施
- ③ 暫定的に現状を維持する施設については、積極的な改修等を行わない
- ④ 今後も市として維持するサービス・機能に係る施設については、日常的な点検に基づく計画的な予防保全に取り組む

対策の方向性

- オンライン診療、医療MaaS、訪問診療、近隣病院との連携など、施設を所有せず日常的な診療機会を提供できる代替手段を含め、中山間地域全般におけるこれからの診療体制のあり方を具体的に検討
- 必要に応じて、中山間地域全般における具体的な診療体制検討のための実証的な取り組みを実施
- 田人診療所は、中山間地域全般におけるこれからの診療体制のあり方整理を踏まえた上で、改めてあり方を検討するため、暫定的に現状維持
- 市民一般に対し、休日、夜間等の入院や手術を要しない急病に対する診療機会を提供する休日夜間急病診療所の機能は、一次救急医療を確保するものとして不可欠であることから、建物の長寿命化を図り、これを維持

地区	施設名 【建築年】	主たる建物の 耐震基準	方向性	内容	短期		中期					長期
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
田人	田人診療所 【2004年】	新	現状維持	検討内容	中山間地域における医療のあり方を検討・実証				施設のあり方検討			検討結果に 応じた対応
				対策内容								
				対策費用概算								
内郷	休日夜間 急病診療所 【2016年】	新	長寿命化 目標使用 年数 40年	検討内容								
				対策内容								
				対策費用概算								